令和３年度　呉市地域ケア推進会議　摘録

日　　時　令和４年３月 23 日（水）
13 時～14 時 30 分
会議様式　オンライン会議

議題

１　呉市が目指す「地域包括ケアシステム」について（資料１）

２　個別地域ケア会議の活動実績

(1)　支援困難ケース検討型地域ケア会議活動実績（資料２－１）

(2)　自立支援型地域ケア会議活動実績（資料２－２）

(3)　生活援助検討型地域ケア会議活動実績（資料２－３）

〔意見〕

○　人口減少，少子高齢化，地域の生活課題が複合化・複雑化してきていると感じる。生活困窮，生活保護でもなく，身寄りもなく施設に入れない困難事例が増えたように思う。一人暮らしの認知症の方に対する周囲の混乱や支援不足もある。今後も地域ケア会議を活用して，地域課題を見出し課題解決に向けた協議を行い，地域のネットワーク会議の連携を通じて，つながりから課題を早めにキャッチして対応していきたい。

３　日常生活圏域ケア会議の活動報告（資料３）

〔意見〕

○　包括支援センターは，まだ取組を始めたばかり。会議に至っていない地域もある。進め方等，試行錯誤している。

ここにおられる委員の皆様に協力を依頼することがあると思うので，ぜひ参加に御協力をお願いします。ネットワークを強化していきたいと思います。

４　検討委員会の活動報告

(1) 在宅医療・介護連携推進検討委員会（資料４－１）

〔意見〕

○　地域や分野の垣根を越えた取組，地域包括ケアシステムが必要。地域で生活する独居や孤立した高齢者の支援は，地域，行政，医療・介護等全て包括的な支援体制構築が求められる．協力をお願いしたい。

○　本年度は退院前カンファレンスのオンライン化ワーキングを通じ，HM ネットを活用して推進する方向性が決定した。

○　オンライン会議には，機器の問題，ネット環境や使い勝手の悪さ等，まだまだ課題がある。呉市から HM ネットに向け改善を求めているため，利用しやすい状況になるよう今後に期待したい。

○　医療・介護現場では，退院前カンファレンス等はまだまだ実施できないといった支援者サイドの課題もある。今後，障壁を取り除くため，関係者間のバリアをなくす取組をする必要がある。どちらかから始めるのでなく皆で慣れていく必要性を感じる。

(2) 認知症施策推進事業検討委員会（資料４－２）

〔意見〕

○　医療専門職であるのに，行政が実施している認知症の取組を知らなかった。患者や御家族に一番近い存在で関わる医療専門職が知り，家族に伝える必要性を感じた。相互でよい関係をつくっていけたらと思う。

５　地域ケア会議を通じた市全域の課題と対応策について

(1) 令和４年度の主な取組について（資料５－１）

(2) 呉市地域福祉計画の策定について（資料５－２）